

## 夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から

### ねんりんピック富山2018

日時	11月2日(金)～6日(火)
場所	射水市大島弓道場
	3日 総合開会式
	4日 予選1回戦・交歓試合
	5日 予選2回戦
結果	40射14中で予選敗退 日頃の練習の成果を発揮出来ませんでした (ボーダーライン20中・10チームから3チームが競射でトーナメントへ) 射水市特別賞を森幸子選手が受賞する。(誕生日が同じ) 交歓試合で吉田監督・森選手が半分け以上の的中賞を獲得する。

多くの方に応援にお越し頂き有難うございました。

### ねんりんピック富山を終えて

監督 加賀市弓道協会 吉田 昇一

初めに、二日間にわたり早朝にもかかわらず多数の応援を頂き有難う御座いました。監督として、何事もなく無事に行って来ることが出来嬉しく思っています。

さて、5月のゆーりんピック弓道交流大会で、派遣選手が決定後、5回の合同練習を行い大会に臨みましたが、色々な条件(一番立で時間が早い、太陽の光で会の時的が見えない等)が重なり普段の当たりが出ず予選通過ができませんでした。残念です。

しかし、時間が空き射水市の観光を行い楽しい時間を過ごすことが出来ました。

またの機会には予選通過を目指して、選手として参加出来ることを願っています。最後に、道場の使用時の手伝い、並びに、激励費を頂き有難う御座いました。

ねんりんピックに参加して

野々市市弓道協会 西田 義人

今回初めてねんりんピック大会に参加させて頂き有難う御座いました。最初は富山県で開催という事もあって気楽に参加させて頂きただろうと思っていたのですが、初日の石川県庁での知事激励挨拶にはじまり、二日目の選手全員による開会式、入場行進は大変感動致しました。国体と何ら代わりのない開会式でした、大会の行なわれる射水市で弓道の開始式とスケジュールをこなして行くうちに次第にこれは頑張らなければと言う気持ちになりました。

石川県は誰の差し金か一番立の第二射場、自分は一番立が初めての経験で、大会に望むにあたって少し焦っていたところがあったかもしれませんが、大前として反省しております。自分で設定したノルマを達成できなかったのも反省です。

多くの方に応援に来ていただき大変有難う御座いました。期待に答えられず申し訳ない気持ちでいっぱいです。

監督の吉田様、それから一緒に参加させて頂いたチームメートの皆様、お世話になり有難う御座いました。感謝申し上げます。

次回もし参加する機会があれば、練習会にはしっかりと参加して満足な成績を残せるよう頑張りますので。皆様変わらないご指導宜しくお願い致します。

第31回全国健康福祉祭とやま大会に参加して

金沢市弓道協会 正札 武治

8年ぶりに、ねんりんピック富山大会に出場出来ることとなり、6月から月1回のペースで合同練習を積み、本大会に挑んだのですが、残念ながら決勝トーナメント戦に進むことが出来ませんでした。

今回は隣県開催とあって、大ぜいの弓道を愛好する皆様方に応援をして頂きました、心より厚くお礼申し上げます、有難うございました。

初日の四ツ矢はド緊張の連続で、心臓バクバク、自身の心はどこへ行ったのか、気持ちのコントロールがまったく出来ませんでした。1本目:暴発気味で的前数メートルの掃き矢、2本目:的上50センチの大外れ、3本目:的中、4本目:的左50センチの大外れで矢所一定せずバラバラでした。

二日目は幾分か心も落ち着き、不十分ながらも、それなりの射が出来たと思います。的中は2本で、外れ矢の2本も的近くで納得できる範囲でした。(朝の太陽光がまぶしく霞的の外黒が見えず、八寸的の様でした。)

これらの結果から、目指している射「三位一体」の一つ「心気の安定」という大きな柱が、腐食・傾きの状況での大会であったと反省しています。

舞い上がっても良いものは、凧揚げと左義長で燃やす書初めぐらいにして、身も心も舞い上がる事の無いよう、修練を積み重ねて参ります。

弓人の皆様方、今後共ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## ねりんピック富山2018に参加して

### 内灘町弓道協会 江丸 格

11月4日から射水市の大島弓道場で行われた大会に出場しました。吉田監督はじめメンバーの皆様には大変お世話になりましたが、期待に応えることができず申し訳なく思っています。又、石川から応援にきてくださった皆様にお礼申し上げます。

楽しい5日間をすごさせていただきました。今後、この様な機会が来るかわかりませんが、ねりんピックを目標に弓道を続けて行きたいと思えます。

## 第31回全国健康福祉祭とやま大会に参加して

### 七尾市弓道協会 大久保 栄子

私自身、山口大会に続き2度目の参加でした。この度は、隣県でもあり馴染みの北陸でもありますので、山口大会よりは普段着で射るつもりで参加させていただきました。

11月3日晴天の中、総勢1万人参加のねりんピックが始まり、「がんばりまっし」の心強い声援を受け、「よし、山口大会のリベンジマッチだと意気込み」力強く手を振りながら行進しました。

いよいよ4日、5日と射水市大島弓道場で大会が始まりました。この大島弓道場は何度となく通った道場でもあり、余裕をもって臨んだつもりでしたが、結果はリベンジならず予選敗退でした。またまたこの大会で普段の射が出来ず心残りの大会となりました。

しかしながら、ご高齢の方の坐射のパワーに驚かされたり、全国の弓道を愛する方々との出会いなど、私にとって大変意義ある大会でした。

帰り際、夕日にうかぶ立山が私をねぎらうように現れ、今後、一射一射大切に稽古に励みたいと誓いました。

結びになりましたが、早朝より応援くださいました皆様、ありがとうございました。

## ねんりんピック大会に初出場して

### 金沢市弓道協会 水橋 美喜夫

今年は9月末から福井県敦賀市で国体、10月には石川県金沢市で全日本弓道選手権大会、11月には富山県射水市でねんりんピック大会とビッグイベントが北陸三県で続きました。このうち、選手として初参加したねんりんピック大会についてのコメントを報告いたします。

- ・私の能登の実家近くのおばさん(高齢)が他競技に選手で参加していてビックリ。(しかも北信越予選で勝ち抜いたとのこと)初日の晩のホテルでは森さん、大久保さんと相部屋で私の事が話題になったということで二度ビックリ。
- ・総合開会式で、バスの駐車場から開会式待ちグラウンドまでキャリーバッグ等を引かずって徒歩でかなりの距離を移動。さらに選手待機グラウンドに到着後、数時間立ちっぱなしになり、今後の行動予定の説明もほとんどなく、おまけに日差しが強く、それぞれで大変な思いをした。(逆に雨天時ではどうなっていたのだろうか。)
- ・総合開会式場に向かう徒歩移動も進んでは止まりの繰り返し。ようやく入場した後のセレモニーも長く、来賓挨拶等はマイクの残響でほとんど聞き取れず。こうした流れは国体に準じた形式だと思うが、高齢者の大会向けに一考を要する気がする。
- ・毎回の朝食時間が早くて、起床が午前4時台、朝食は午前5時台、バスでの出発が午前6時台と、日頃の生活リズムとは大きく異なる。競技会場到着後は今度は時間を持って余して、日々の体調管理(リズム)に苦労した。
- ・石川県チームの立ち順は2番(つまり最初の立)で、かなり早く招集がかかり、開会式や矢渡の進行状況も分からずかなり長い時間、第一控えで待機した。(事前の監督会議では控えに入ってもトイレに行きたくなったら遠慮なく申し出てほしい、その対応はします、という事が強調されたとのことだが、その意味がようやく理解できた。)
- ・当日朝に監督は弓を引けないルールですよといきなり言われて、吉田監督は大慌て。居合わせた越野先生と吉田監督が昨年は引けたのに何故！？と強い申し出をし、結果的に弓を引けたのだが、かなり後味が悪い結果となった。(後日、富山県連の説明

を聞くと、専任監督ならば大会規程上は以前から引けないことになっている、選手兼務監督ならOK。ただし、今回はクレームが強かったので、特別な配慮で引かせてあげたとのこと)これは初耳であり、次年度以降の大会では要注意。

- ・選手控室会場内に弓具店とお土産売店があったため、応援団などの部外者はIDカードがなくて入口で厳しく立ち入りを拒否された。弓具店や土産店は選手控室ではない場所等に配置すべきでないか。

- ・開始式のセレモニーで、初めに園児たちが跳ね回る愛らしい歓迎を受けた後、地元の劇団による弓道題材の寸劇披露。これがとんでもない内容で、弓を逆さに持ったり、右腕を押して引いたり、道着袴は弓道と全く異なるものを着用したり、笑いもあったが意図的なのか知らずにやったのか、妙な違和感が最後まで残った。

- ・その開始式で例年最高齢者賞を表彰するが、舞台上の選手の年齢が紹介された時に、会場から「こっちのほうが高齢だ、どうなっている」と大声でクレームあり。射水市長も一瞬怪訝な顔になった。その後、間をおいて「これは正選手に贈呈されるもので、専任監督は対象外です」という放送があった。(それなら大会規則等に明確に記載するなど納得できる対応の方法があったのではないか。)

- ・二日目の立ちでは朝日が真正面から差し込み、自分の箆の上辺からの反射光も加わって、目通り以降、的が視界から消えてしまった。県立武道館での矢渡で床面からの朝日の反射光がまぶしいという経験は何度もあるが、直接光での的が全く見えなかったという経験は長い弓道人生で初めてだった。目をつむって矢を放つ心境だった。

- ・ねんりんピック大会は高齢者が対象だが、運営面(連日の日程)ではかなりハードなスケジュールでした。つまり、これからも参加選手は心身共に体調十分な方でないと大変だということを感じました。県予選に参加される皆さんも要注意です。

- ・最後に、県内からたくさんの応援団が駆けつけていただきありがとうございました。めった汁がおいしかったです。今後は、傷めている右肩の治療に専念しつつ、本大会のリベンジも視野に入れてさらなる射技修練に精進したいと思います。

## ねんりんピック富山2018

金沢市弓道協会 森 幸子

11月2日から5泊6日の旅、金太郎温泉で石川県選手団の前夜祭、私は初参加で金太郎温泉も初めてで、修学旅行の気分ワクワク!!

前夜祭では、各種目が紹介され、全く知らない競技もありました。舞台ではカラオケありダンスありで、和やかな一日でした。

お天気にも恵まれ、大会の日は朝日が眩しいくらいの上天気で、正選手は大変だったと思います。私は交代選手だったので、大会の1日目の夕方近くで、以前から吉田監督に3射2中を言われていたので、何とかホッと！！

全員が飲める人ばかりでとても楽しい毎日でした。毎晩ビールで乾杯(o^)/

以前に石川県にいた友人と再会できたり、他県の友人数名と会えたのがとても嬉しかったです。

富山県のおもてなし接待は、素晴らしいチームワークで、豚汁等皆でおいしくいただきました。

個人的に、射水市と私の誕生日が同じということで特別賞(しろえび)と交歓試合で半矢以上の的中賞(太閤山 180 ml)をいただきました。

隣の県ということもあり、たくさん応援に来ていただき、とても感謝しています。

ねんりんピック富山 2018 に参加して」

七尾市弓道協会 濱田 幸栄

ねんりんピックに交代選手とし選考され軽く引き受けたものの、強化稽古に参加し監督・選手・引率者の意気込みを肌身に感じ取れる機会が重なっていくなかで、本当に交代選手と言へども私で良いのかなと心揺らぐ日々でした。

大会が近づき、激励・壮行会が行われ、県庁前での出発式を経て金太郎温泉での懇親会は楽しく過ごせたのですが、翌日の総合開会式には、早起きは何時もの事だけど朝食の早過ぎや夕食の遅いのは体調管理(常備薬の摂取)の難しさは大会日も続き、これも大会なのだと思います。しかし、それ以上に大会を盛り上げて頂いている運営の役員やボランティアの方に感謝する事が沢山あり、頭の下がる思いでした。

なお、私の交歓試合は散々なものでしたが、応援に来て頂いた皆さん、有難うございました。

最後に、全国の皆さんと触れ合う良い機会やゆうゆうクラブ越野会長、吉田監督はじめ選手の方と接する事で得たものが射に活かせるよう取り組みますので、今後ともよろしくお願ひします。